

## 社会資本総合整備計画 事業評価シート

計画の名称		1 一人ひとりの個性が活きる 人が輝くまち																											
計画の期間		平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)		交付対象	福島市																								
計画の目標		福島市緑の基本計画において、都市公園等の整備、緑地の保全・活用、公共施設や民有地の緑化、緑化意識の普及啓発や緑化活動への市民参加など都市の「緑の保全・創出」に努め、史跡宮畑遺跡の歴史的資源を核としたネットワークの構築を図ると共に「やさしさと自然の温もり福島観光圏」と連携しながら市民協働によるまちづくりを推進するものである。 また、市民の目線に立った公園施設の安全確保を図るため、既存遊具を活用した「誰もが安全で安心して利用できる」公園施設の改築等に着手するものである。																											
計画の成果目標 (定量的指標)		①市民1人当たりの都市公園面積10.29㎡/人(H21)から10.55㎡/人(H26)に増加 ②都市公園などへの植樹本数(累計)53,775本(H21)から63,775本(H26)に増加 ③都市公園改修遊具数212/678(H21)=31.3%から357/678(H26)=52.7%に増加																											
定量的指標の定義及び算定式		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">実績値</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H22当初)</th> <th>中間目標値 (H24末)</th> <th>最終目標値 (H26末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①福島市の都市公園の合計面積を行政区人口で除して算出する。※福島市総合計画に位置付けられている。 一人当たりの都市公園面積(㎡/人)=都市公園の供用面(㎡)/行政区人口(人)</td> <td>10.29㎡/人</td> <td>10.33㎡/人</td> <td>10.55㎡/人</td> <td>11.1㎡/人</td> </tr> <tr> <td>②福島市内における植樹本数の累計により算出する。(福島市環境基本条例、環境基本計画の「進捗管理指標」による)※福島市総合計画に位置付けられ 都市公園等への植樹本数(累計:本)=N53,775本(H21末実績)+(年数×2,000本/年)※N=75,775本(H32目標値)</td> <td>53,775本</td> <td>59,775本</td> <td>63,775本</td> <td>64,805本</td> </tr> <tr> <td>③福島市の都市公園(H21)187のうち遊具がある132公園の遊具点検を「遊具の安全に関する基準JPPA-S:2008」に基づき遊具の危険度を算出する。 遊具の危険度数(%)=危険な遊具数/全体の遊具数</td> <td>31.3%</td> <td>38.6%</td> <td>52.7%</td> <td>31.3%</td> </tr> </tbody> </table>						定量的指標の現況値及び目標値			実績値	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)	①福島市の都市公園の合計面積を行政区人口で除して算出する。※福島市総合計画に位置付けられている。 一人当たりの都市公園面積(㎡/人)=都市公園の供用面(㎡)/行政区人口(人)	10.29㎡/人	10.33㎡/人	10.55㎡/人	11.1㎡/人	②福島市内における植樹本数の累計により算出する。(福島市環境基本条例、環境基本計画の「進捗管理指標」による)※福島市総合計画に位置付けられ 都市公園等への植樹本数(累計:本)=N53,775本(H21末実績)+(年数×2,000本/年)※N=75,775本(H32目標値)	53,775本	59,775本	63,775本	64,805本	③福島市の都市公園(H21)187のうち遊具がある132公園の遊具点検を「遊具の安全に関する基準JPPA-S:2008」に基づき遊具の危険度を算出する。 遊具の危険度数(%)=危険な遊具数/全体の遊具数	31.3%	38.6%	52.7%	31.3%
	定量的指標の現況値及び目標値			実績値																									
	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)																										
①福島市の都市公園の合計面積を行政区人口で除して算出する。※福島市総合計画に位置付けられている。 一人当たりの都市公園面積(㎡/人)=都市公園の供用面(㎡)/行政区人口(人)	10.29㎡/人	10.33㎡/人	10.55㎡/人	11.1㎡/人																									
②福島市内における植樹本数の累計により算出する。(福島市環境基本条例、環境基本計画の「進捗管理指標」による)※福島市総合計画に位置付けられ 都市公園等への植樹本数(累計:本)=N53,775本(H21末実績)+(年数×2,000本/年)※N=75,775本(H32目標値)	53,775本	59,775本	63,775本	64,805本																									
③福島市の都市公園(H21)187のうち遊具がある132公園の遊具点検を「遊具の安全に関する基準JPPA-S:2008」に基づき遊具の危険度を算出する。 遊具の危険度数(%)=危険な遊具数/全体の遊具数	31.3%	38.6%	52.7%	31.3%																									
全体事業費		合計 (A+B+C)	1,549百万円	A	1,492百万円	B	27百万円	C	30百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C)	1.9%																		
事業効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> <li>福島市飯坂地区における公園の整備が完了したことにより、一人当たりの都市公園面積が11.1m2に増加した。</li> <li>公共施設や公園整備における緑化を推進した結果、64,805本に増加した。</li> <li>長寿命化計画の策定により、ライフサイクルコストの縮減に繋がる、補修・改築を行うべき公園施設が明確となった。</li> </ul>																											
今後の方針		今回は東日本大震災の復旧事業の影響や、長寿命化計画の見直しにより、都市公園遊具の改修を進めることが出来なかった。今後は、長寿命化計画の見直しを適宜行いながら長寿命化計画に沿う公園施設の種類に応じた日常点検、定期点検を行う。また、緑地、公園整備、緑化の推進を図りながら、公園利用者の安全と利便性を確保と適切な維持管理に努めると共に、予算執行の平準化を図りながら計画的な補修・改修及び更新を実施し、施設の延命化によるライフサイクルコストの縮減に努める。																											
社会資本整備総合交付金を充てた要素事業の進捗状況																													
A 基幹事業																													
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考														
									H22	H23	H24	H25	H26																
1-A1-1	公園	一般	福島市	直接	福島市	都市公園事業(宮畑遺跡史跡公園)	施設整備・用地取得A=5.6ha	福島市						1,025	防災・安全へ移行														
1-A1-2	公園	一般	福島市	直接	福島市	緑化重点地区総合整備事業(都心南北地区)	施設整備(市役所新庁舎 東棟)	福島市						61															
1-A1-3	公園	一般	福島市	直接	福島市	緑化重点地区総合整備事業(飯坂地区)	施設整備(愛宕山公園、八幡緑地、乙和公園、八景公園、月輪公園)	福島市						61															
1-A2-1	公園	一般	福島市	直接	福島市	福島市都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業	施設改修(借夫ヶ丘総合運動公園)施設更新(十六沼公園ほか9公園)	福島市						339	防災・安全へ移行														
1-A3-1	公園	一般	福島市	直接	福島市	公園施設長寿命化計画策定調査	計画策定	福島市						6	防災・安全へ移行														
合計													1,492																
B 関連社会資本整備事業																													
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考														
									H22	H23	H24	H25	H26																
1-B-1	道路	一般	福島市	直接	福島市	市道古川・宮畑線道路改良	道路改良 L=200m	福島市						27	防災・安全へ移行														
合計													27																
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考																	
1-B-1	道路改良により公園利用者等の安全性の向上を図り、快適で安全で安心して利用できる公園整備を支援する。																												
C 効果促進事業																													
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考														
									H22	H23	H24	H25	H26																
1-C-2	施設整備	一般	福島市	直接	福島市	じょーもびあ宮畑案内サイン整備事業	歩行者誘導板、施設案内看板整備	福島市						30	防災・安全へ移行														
合計													30																
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考																	
1-C-2	公園事業(1-A1-1)と一体的に整備することで、「歴史的資源の情報・避難者の誘導」をすための施設整備を図ります。											防災・安全へ移行																	

(参考図面) 市街地整備

計画の名称	1 一人ひとりの個性が活きる 人が輝くまち	交付対象	福島市
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)		

